

News Letter

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>Japan Geographic Data Center
公益財団法人
国土地理協会

2021年の地名変更情報 あんな地名 こんな地名

News Letter春号では、直近1年の間に実施された、住居表示や区画整理・町名地番整理などの地名の変更を毎年ご紹介しています。今回も興味深いと思われる内容をいくつかあげてみます。

石川県金沢市「かないわかみえちぜんまち金石上越前町」

金沢市では過去に存在していた地名を「歴史的文化遺産」とみなし、正式な地名として復活させる旧町名復活事業を推進しています。4年連続で実施された今年度は、11月1日に「金石上越前町」を復活させました。この町には江戸時代に、北前船の交易で越前方面と取引をしていた人たちが多く住んでおり、水産加工を生業としていました。現在も「こんか漬け」（魚のぬか漬け）を製造する店が残っており、伝統の味を守っているそうです。

三重県多気郡多気町「ヴィソン」

三重にゆかりのある4社が合同会社を設立し、滞在型複合リゾート施設を整備した地域に付けられた地名です。人気の観光地である伊勢神宮や熊野古道にも通じるアクセスのよい県の中心部に位置し、山や海に囲まれた場所であることから「美しい村」という意味を込めて「ヴィソン」（美村）と名付けられました。伊勢自動車道と直結するスマートインターチェンジ設置を民間施設として初めて認可され、約119ヘクタールの広大な敷地にホテル・産直市場・温浴施設・飲食店・オーガニック農園などを展開し、広域的な地域経済の活性化を担う場所との触れ込みで事業に取り組んでいます。施行は2020年12月17日です。

滋賀県守山市「かんきょうがくしゅうとしせんげんきねんこうえん環境学習都市宣言記念公園」

2021年秋に供用を開始した新環境センターを含む地域の名称として設定されました。今後、環境学習都市宣言において掲げられている、「守山の恵まれた環境を未来へつなぐとともに自然を大切にする子どもたちが育つまちを創りつづけるために、市民が共に学び、考え、行動する場所」となるようお願いを込めたこのことです。愛称「もりやまエコパーク」の「エコ」には、「自然との調和」エコロジー＋「響き合い」エコーの意味を持たせています。「公園」の付く地名としては、現在日本で最も長い地名になります。2021年4月1日施行。

山口県山口市「おごおりれいわ小郡令和」

元号が令和へ改元して3年、中国地方初の令和の付く地名「小郡令和」が生まれました。JR新山口駅周辺の地域で、以前からこの地域は、明治・大正・昭和・平成・令和の元号の名称が、住所・自治会・通り・橋等に付いていて、今回の住居表示でも新元号の「令和」を加え、歴史を感じられる名称としてほしい、発展につなげていきたいという意見があったそうです。2021年2月20日施行。

長崎県佐世保市「ひうみ町」^{まち}

1927年に佐世保市に編入された東彼杵郡日宇村の一部であり、郷土史によると、日宇川口から木場田原一帯がかつて「干海」と称されていたとされ、これが地名の由来となっています。JR佐世保駅まで車で10分、西日本自動車道佐世保大塔インターチェンジまで車で4分の利便性を生かし、大規模住宅団地「グランアヴェニールひうみ」が開発されています。市街中心部への通勤者が増加し、ベッドタウンとして発展を期待されるエリアです。2021年12月1日施行。

新設された地名では
ありませんが...

栃木県宇都宮市「徳次郎町」^{とくじらまち}

1954年の宇都宮市と河内郡富屋村との合併時に、読み方を「とくじろうまち」と定めたとされています。しかし、地元の富屋地区では「とくじら」に強い愛着を持っており、その起源は奈良時代にさかのぼるとも言われています。地区の総意として地元自治会が2020年4月に読み方変更の要望書を宇都宮市に提出、市としては既存町名の読み方変更は初めてであったため、住居表示等審議会に諮り審議を行いました。最終的に歴史的・文化的な背景、郷土愛の育成、ひいては市の発展につながるものとの結論が出たため、2021年3月1日付で読み方が変更となりました。

日本の中央

「中央」は、辞書によれば「距離・場所・順序などが、どの端からも等しく離れていること。中心。まんなか」となりますが、日本では地名に「中央」を多用する傾向がみられます。現在、自治体名として北海道札幌市中央区、埼玉県さいたま市中央区、千葉県千葉市中央区、東京都中央区、神奈川県相模原市中央区、新潟県新潟市中央区、山梨県中央市、大阪府大阪市中央区、兵庫県神戸市中央区、岡山県加賀郡吉備中央町、愛媛県四国中央市、福岡県福岡市中央区、熊本県熊本市中央区と、13市区町あります。かつては岡山県久米郡中央町や熊本県下益城郡中央町もありました。

自治体名でこれだけ多く使われているので、大字ともなるとさらに増加するのは想像に難くありません。実際、2021年も以下の3自治体で「中央」を使用した地名が新設されました。

- ・宮城県名取市^{ゆりあげ}關上中央 1・2丁目
- ・埼玉県吉川市中央 1~3丁目
- ・神奈川県足柄上郡大井町大井中央

弊社調べでは、44都道府県において、何らかの形で「中央」の使用がみられます。使用のない県は和歌山県・鳥取県・島根県の3つにすぎません。近年の状況をもて、

2006年	千葉県印西市中央北	1丁目	他	2014年	宮城県仙台市泉区泉中央南		他
2007年	北海道北見市中央三輪	8・9丁目	他	2015年	山口県宇部市厚南中央	1~6丁目	他
2008年	長崎県諫早市中央干拓		他	2016年	茨城県つくば市みどりの中央		他
2009年	千葉県四街道市中央		他	2017年	山口県山口市 ^{おおうち} 大内中央	1・2丁目	他
2010年	栃木県芳賀郡 ^{なない} 益子町七井中央		他	2018年	京都府京田辺市 ^{みやまき} 三山木中央	1~9丁目	他
2011年	富山県砺波市 ^{でまち} 出町中央		他	2019年	新潟県長岡市 ^{なかのしま} 中之島中央		他
2012年	福岡県北九州市若松区くきのうみ中央		他	2020年	千葉県市原市 ^{こい} 五井中央南	1丁目	他
2013年	福井県福井市高木中央	3丁目	他				

など、毎年のように「中央」使用の地名が生まれています。これからも各地で「中央」は増え続けていきそうです。

- (1) 試験日 : 2022 (令和4) 年 6月19日 (日) 予定
- (2) 試験時間/問題数
 地図地理検定 (基礎) : 13:30~14:20・全問択一式、100点満点
 地図地理検定 (専門) : 15:00~16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点
- (3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受検資格 どなたでも受検できます。年齢等、一切の制限はございません。



地図地理検定

受検料

基本受検のほかにリピーター割引、学生割引、シニア割引があります。5名以上なら団体受検も選べます。

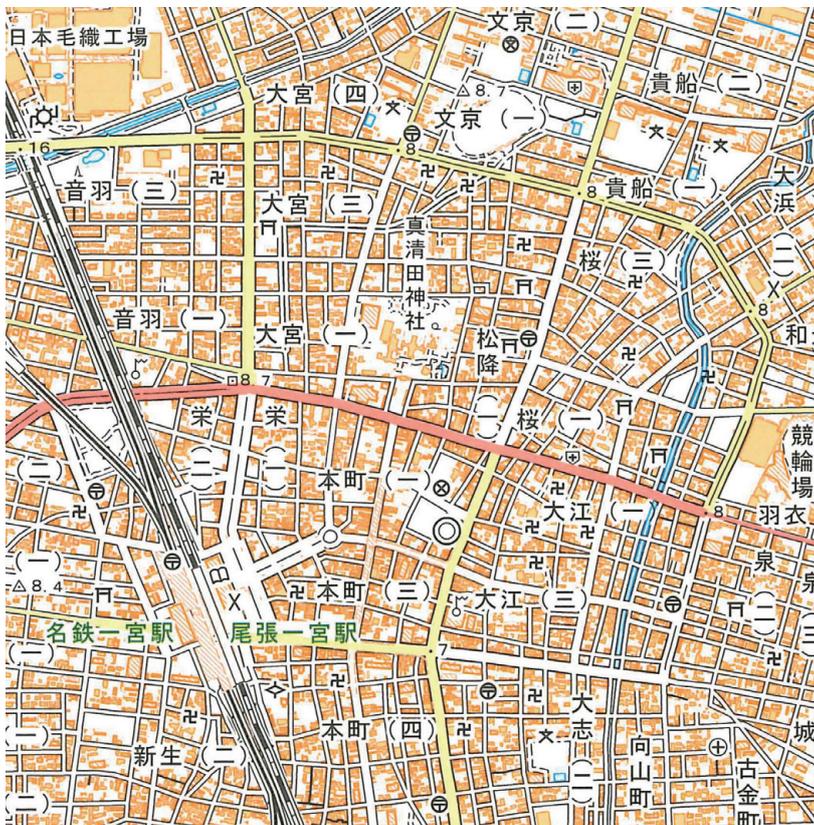
	地図地理検定 (基礎)	地図地理検定 (専門)	基礎・専門の併願
基本受検料	3,000円	4,000円	5,000円
各種割引	2,000円	3,000円	4,000円

詳しくは地図地理検定ホームページ (<https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizuken/>) をご覧ください。

地図地理クイズ!

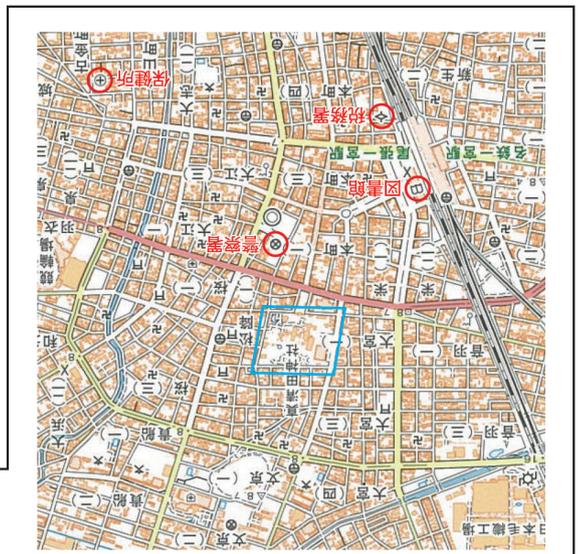
(第34回地図地理検定より出題)

問 チズルさんが2万5千分1地形図を用いて真清田神社の周辺を調べたところ、尾張一宮駅・名鉄一宮駅の近く、遠くても駅から1.5km以内に公共施設が集まっていることがわかりました。下に挙げた①~④の固有名の公共施設はすべて、地形図の範囲内に位置しています。真清田神社から最も離れている施設はどれですか。下の①~④のうちから1つ選びなさい。



(国土地理院2万5千分1地形図「一宮」令和2年調製、125%拡大、部分)

- ① 一宮税務署
- ② 一宮保健所
- ③ 一宮警察署
- ④ 一宮市立中央図書館



【正解】② 一宮市立中央図書館
 【解説】選択肢に示された施設はすべて、2万5千分1地形図では地図記号と表されています。左図で赤い四角囲んだものは、右図に示したとおり、真清田神社から最も近い公共施設となります。

日本列島 離島巡り

今回は離島巡りに
戻って、愛媛県今治
市大三島を紹介し
ます。



大三島は、愛媛県の最北端、瀬戸内海のほぼ中央にあり、芸予諸島最大の有人島です。島で随一の観光スポットは、やはり大山祇神社おおやまつみでしょう。日本総鎮守と呼ばれ、全国に1

万社あまりの分社を持ち、古代より多くの信仰を集めてきました。境内中央に鎮座する大楠は樹齢約2600年のご神木で、パワースポットとしても知られています。宝物館には国宝・重要文化財に指定された鎧・兜・刀剣類が多数収蔵・展示されています。大三島は「島」と付いていますが、大三の島ではなく、三島に「大」が付いたものです。かつて、三島神社の総本社である大山祇神社のことを「大三島」と呼んでおり、後にそれが島全体を指すようになったといわれています。



大山祇神社



瓢箪島

瓢箪島はその名の通り瓢箪の形をしており、広島県尾道市の生口島いくちしまと愛媛県今治市の大三島との中間にある周囲約700mの小さな無人島です。昔、生口島の神と大三島の神が島取りの綱引きを行ったため、くびれてしまった島の形を双方の島民が心配して和解することとなったという民話が伝えられています。島の周辺は良好な漁場であることから、その漁業権をめぐる紛争から生まれた民話と考えられ、多発した境界争いの証拠として、島内には明治時代の境界石も残されています。瓢箪島はNHKのテレビ人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルとなったとされる島の一つとしても有名です。

広島県尾道市から愛媛県今治市の島々を9つの橋でつなぐ「瀬戸内しまなみ海道」は、サイクリストなら誰もが一度は走りたい聖地として知られています。生口島と大三島を結ぶ多々羅大橋のたもとにある「道の駅多々羅しまなみ公園」は、優雅な多々羅大橋、風光明媚な瀬戸内海の景色が一望できるビューポイントとして人気です。農水産物直売所、特産品センター、レストランがあり、もちろん自転車を借りることもできます。サイクリストの聖地碑の前で写真を撮ればサイクリストの仲間入りです。瀬戸内しまなみ海道沿いにはレンタサイクルターミナルが全13か所あり、乗り捨ても可能なので好きな区間を好きなだけ走ることができます。高低差のある橋を渡るのは大変ですが、推奨ルート全70kmを走破すれば違う何かが見えてくるかもしれません。



サイクリストの聖地碑



多々羅大橋

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184

URL <https://www.kokudo.or.jp>